

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター中央

【計画】

作成担当者：

日高 昭子

開催日時	平成30年10月11日 10:00 ~ 11:30	開催場所	鹿児島市勤労青少年ホーム
参加者	居宅介護支援事業所 介護支援専門員：12人、包括支援センター中央 職員：5人		
	総数 17人		
内容	テーマ	中央圏域の地域課題について	
	目的	中央圏域の地域課題について、圏域内の居宅介護支援事業所介護支援専門員を対象にグループワーク形式にて情報共有を行い、ネットワークを構築するため。	
	概要	①議題「地域課題について」 ②グループワーク 中央圏域ってどんなところ？ 参加者を2グループに分け、グループワークとして以下3項目について意見交換・情報共有 1. 皆さんの担当ケースにおいて、地域組織や近隣住民をプランに組み入れているケースはありますか？ 2. 担当ケースで在宅生活の継続が出来なかったことがありましたか？ 3. 中央圏域に不足している社会資源は何だと考えますか？ ③介護予防把握事業、認知症ケアパスについて	

【結果】

開催日時	平成30年10月11日 10:00 ~ 11:45	開催場所	鹿児島市勤労青少年ホーム
参加者	居宅介護支援事業所 介護支援専門員：11人、包括支援センター中央 職員：5人		
	総数 16人		
内容	①鹿児島県・鹿児島市の実状、地域包括ケアシステムの実現向け各種地域ケア会議を開催していることを説明。地域課題の発見・把握と、地域づくり・資源開発の検討、政策提言に向け動き出していることを再確認した。 前年度までの中央事業所の取り組みを紹介した。平成30年2月に中央圏域4校区の地区担当民生委員に対し行ったアンケート調査の結果に基づき、圏域内のオートロックマンションが多い実状等について共有した。生活支援コーディネーターの配置、生活支援体制整備事業の取り組み報告を行った。 ②グループに分かれ、「グループワーク 中央圏域ってどんなところ？」グループワークを行った。積極的な意見交換、情報共有ができた。 【全体まとめ】 グループワークを通じて居宅介護支援事業所間のネットワーク構築ができた。居宅介護支援事業所と中央圏域の社会資源の共有ができた。 地域課題の検討により、利用者支援と地域包括ケアシステムの構築にあたり、地域課題に目を向ける視点の必要性について共通認識がもてるようになった。包括支援センターとしての役割、地域での相談場所としてより一層包括の紹介・周知がされるとよいとのご意見もいただき、今後に生かしていきたい。 ③介護予防把握事業、認知症ケアパスについて紹介・説明		
	今後の課題など	一軒家ではない集合住宅（オートロックマンション）が増える中、地域内の住民どうしのお互い様・見守り・助け合いが少しずつ形を変え、薄れている現状を参加者で共有した。社会資源として、買い物支援・見守り支援など生活に密着した情報を今後も引き続き収集していきたい。	